

## 日本発ウィーン便り : Schönbrunn の風景

ウィーンを旅行するときには、必ず Schloss Schönbrunn（シュロス シェーンブルン：シェーンブルン宮殿）に定点観測＋散歩にいきます。お城の中は豪華絢爛でため息の連続十年がら年中観光客であふれています。ですが、私が行くのはもっぱら庭園の方です。庭園といっても終わりが見えなくらい広大です。庭園内に、植物園もあるし、動物園もあるし、迷路もあれば噴水も丘も森も、なんでもあります。端から端まで見たら、どのくらいの距離があるのか、見当もつきません。



いつもの定点観測地。この噴水からの風景がお気に入りです。  
今回は、庭園内に「あることは知っている」けど、行ったことない所に行ってみることにしました。



これはローマ時代の遺跡。遺跡といってもかなりきれいに残っています。  
ウィーン中にもローマ時代の遺跡が残っているところがいくつかあります。  
ローマ帝国って凄かったんですね～。



定点観測地の噴水から、いつもこんな感じで見えているオベリスク。初めて近くに寄ってみました。



なんとここも噴水になっていました！正式な名前は「オベリスクの噴水」でした。



この精巧な噴水に注目。岩の上には石でできた植物や動物がたくさんくっついて(?)います。  
この噴水の裏から階段を上ると、森に入れるようになっていました。



オベリスクの噴水の裏からの風景。ここもなかなか良いですね～。定点観測地に加えるべきか？



ちなみに、オベリスクは4匹の金の亀が支えていました。



シェーンブルン宮殿の庭園にはたくさんリスがいますよ。  
すごくかわいいですが、野生のリスなので、触らないように気をつけてくださいね。



これがホントの Schönbrunn（美しい泉。という意味です）か？



庭園はこんな風に木がたくさん。綺麗に整備されていて、散歩にはもってこいです。地元の人もランニングしたり、散歩したりしています。散歩の途中で誰かに出会ったら Grüss Gott!（グリュースゴット！：こんにちは！）と声を掛けてみてくださいね。



広大な庭園は入る場所によって、最寄駅が異なります。地下鉄で、最寄駅は3つくらいあると思います。これは Meidlinger Tor（メイドリング門）Meidling というのは地名です。門だけでもカッコいいですね。☺



春には赤と白のマロニエの花が綺麗です。(日本語では栂の木?)



庭園から見た宮殿。宮殿はこちらが正面になります。(それにしても今回は天気が悪かった!)



丘上のグロリエッテ。晴れた日には丘に登ってちょっとピクニック気分。  
丘の上から見渡すウィーンの風景が見事です。  
ウィーンにお出かけの際には、宮殿だけでなく、庭園にも是非足を延ばしてみてください。